

会員事業場における自主的な労働災害防止活動を推進し、広く安全意識の高揚と安全活動の定着を図りながら労働災害の減少を目指すために、各種運動を展開してまいりますので、会員事業場におかれましても、各種運動を契機として、より一層、労働災害防止に向けて取組んで頂きますよう、宜しくお願いいたします。

1 夏期労働災害防止強調運動

■実施期間

平成28年7月1日（金）から平成28年7月31日（日）まで

■スローガン

『セルフケア ストレスチェックで見直そう 心と体と職場の環境』

2 平成28年度全国安全週間

■実施期間

平成28年7月1日（金）から平成28年7月7日（木）まで

■スローガン

『見えますか？ あなたのまわりの 見えない危険 みんなで見つける 安全管理』

■岩手労働局長メッセージ

全国安全週間 岩手労働局長メッセージ

全国安全週間は、昭和三年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で八十九回目を迎えます。この間、全国では労使が協調した労働災害防止対策が展開され、長期的には、労働災害は減少し、平成二十七年は、統計を取り始めて以来初めて死者数が千人を下回りました。

岩手県内においては、労働災害による休業四日以上 の死傷者数は、平成二十二年から平成二十六年まで五年連続の増加となっており、平成二十七年の死傷者数が前年から若干減少したとはいえ、予断を許さない状況にあります。

一方、近年の全国的な産業構造の変化に伴って、拡大を続ける第三次産業等においては未だに安全に関して自ら取り組む意識が十分とは言えない状況にあり、また、経験が浅い労働者が職場に潜む危険を察知できないことなどを背景として、休業災害を含む労働災害全体の数は十分な減少傾向にあるとは言えない現状にあります。

こうした状況を踏まえ、更なる労働災害の減少を図ることを決意して、平成二十八年度の全国安全週間については、

「見えますか？ あなたのまわりの 見えない危険

みんなで見つける 安全管理」

をスローガンとして、七月一日から七月七日まで展開されます。

この全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、改めて労働災害防止の重要性を認識し、労働災害の二割を占める転倒災害の防止対策の取組（定着）状況を確認するなど、安全活動の着実な実行を図ることに よって、県内の産業界の安全水準がさらに向上するとともに、岩手県の東日本大震災からの着実な復興が進むことを祈念いたします。

平成二十八年七月一日

岩手労働局長 久古谷 敏行